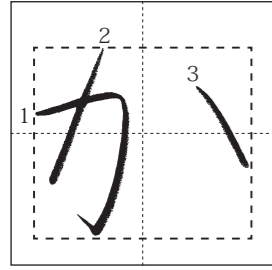


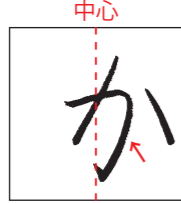
第34回全国硬筆コンクール課題参考資料 <年長用> 指導手引書

※解説文に添えた手書き文字は、好ましくない書き方、矢印は注意を示しています。 主催：一般社団法人 全国書写書道教育振興会



- 外形は、少し縦長に書きましょう。
- 1筆目の終筆はしっかりとはねましょう。2筆目3筆目の終筆は止めましょう。

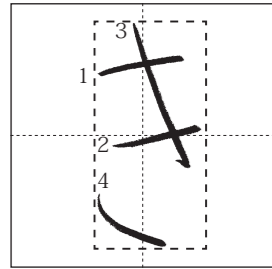
☆1筆目は中心より左に書きましょう。



☆2筆目は1筆目とほぼ平行に書き、1筆目のはねの延長線上で止めるように書きましょう。



☆3筆目は1筆目の横線の延長上のところから書き始め、2筆目と「八」の字になるように書き、2筆目の終筆より3筆目の終筆が長くないように止めましょう。



- 外形は少し縦長に書きましょう。
- 1筆目2筆目4筆目の終筆はしっかりとはねましょう。
- 3筆目のはねは筆勢のはねです。

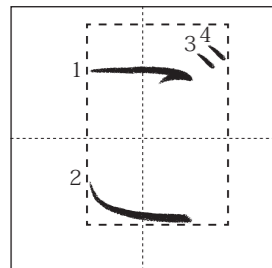
☆1筆目と2筆目の横線は少し右にずらし、ほぼ平行に書きましょう。また、1筆目と2筆目の間は少し広めに書きましょう。



☆3筆目は1筆目と2筆目の右のほうで交わるようにし、上を長く下を短く書き、2筆目の終筆より右に出さないように書きましょう。



☆4筆目の目安は1筆目の始筆の下あたりから書き始め、2筆目と3筆目の交わったところの下あたりで止めるように書きましょう。また、3筆目からつながる気持ちで書きましょう。

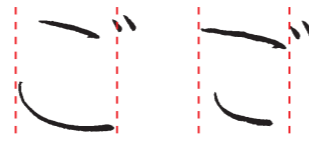


- 外形は縦長に書きましょう。
- 2筆目3筆目4筆目の終筆は止めましょう。
- 1筆目のはねは筆勢のはねです。

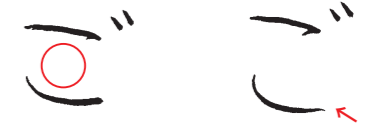
☆1筆目と2筆目は平行に書きましょう。



☆1筆目と2筆目の幅をそろえて書きましょう。



☆1筆目と2筆目の間は、ある程度広くあけて書きましょう。また2筆目の終筆は止めましょう。

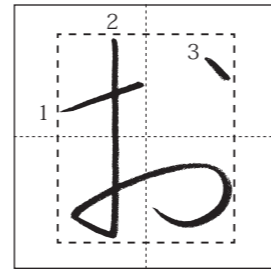


☆濁点は同じ大きさ、長さ、向きに気をつけて、右上に書きましょう。また、止めましょう。



☆1筆目と2筆目は、ほぼ平行に見えるように書きましょう。

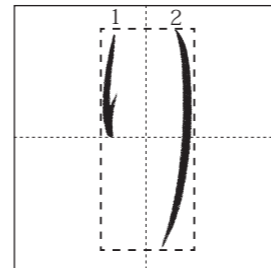
☆2筆目のカーブは縦線よりも下がらないように書きましょう。また○は小さく見えるように書きましょう。



- 外形は、ほぼ正方形に書きましょう。
- 1筆目と3筆目の終筆は止め、2筆目の終筆ははらいましょう。

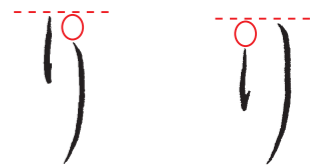


☆3筆目の点の位置に注意して書きましょう。また、止めましょう。

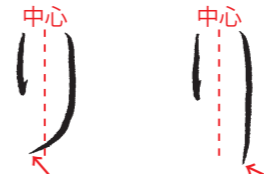


- 外形は縦長に書きましょう。
- 2筆目の終筆ははらいましょう。
- 1筆目のはねは筆勢のはねです。

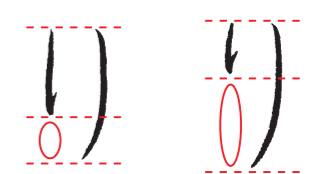
☆1筆目と2筆目の高さはほぼそろえて書きましょう。(1筆目に対して2筆目が多少上がっても下がってもかまいませんが、あまり極端にならないように書きましょう。)



☆2筆目の終筆のはらいは中心に向かってはらうように書きましょう。



☆2筆目は1筆目の長さの約2倍くらいの長さを目安に書きましょう。



特記事項

ひらがな本来のはねは「か」の1筆目だけです。「い・き・け・こ・さ・せ・た・に・は・ほ・り」等のはねは、「筆勢のはね」といいます。はねなくてもまちがいはありません。外形・・・文字を正しく形よく書くための、字のおおよその形をしめたもの。「こ・と・め・る」は他の文字よりやや小さ目に書きましょう。始筆・・・一筆一筆の書き始め。終筆・・・一筆一筆の終わり部分。